

ネイティブ微生物サルコシンオキシダーゼ

Cat. No. DIA-171

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明

サルコシンオキシダーゼ (SAO) は、サルコシンの酸化的脱メチル化を触媒し、グリシン、H₂O₂、5, 10-CH₂-テトラヒドロ葉酸を生成する酵素です。この反応にはH4-テトラヒドロ葉酸と酸素が必要です。サルコシン + H₂O + O₂ = グリシン + フォルムアルデヒド + H₂O₂。

用途

この酵素は、クレアチニンアミドヒドロラーゼおよびクレアチニアミジノヒドロラーゼと結合することで、クレアチニン、クレアチン、サルコシンの酵素的測定に役立ちます。-341は新しいタイプのサルコシンオキシダーゼで、抗菌試験において安定性が向上しています。

別名

サルコシンオキシダーゼ; EC 1.5.3.1; SAO

製品情報

由来

微生物

外観

黄褐色の非晶質粉末、凍結乾燥された

形態

フリーズドライパウダー

EC番号

EC 1.5.3.1

CAS登録番号

9029-22-5

分子量

approx. 65 kDa (by gel filtration)

活性

グレード III 8.0U/mg-固体以上

混入物

カタラーゼ < 1.0%

等電点

4.9±0.1

pH安定性

pH 6.5-9.0 (25°C, 24時間)

最適pH

7.0-8.5

熱安定性

55°C未満 (pH 7.5、10分)

最適温度

40-50°C

ミカエリス定数

2.8×10⁻³M (サルコシン)

阻害剤

Cu⁺⁺、Ag⁺、Hg⁺⁺、p-クロロ水銀ベンゾエート、N-エチルマレイミド、SDS

安定化剤

グルコン酸カリウム

機能

アミンオキシダーゼ活性; オキシドレダクターゼ活性; カルシウムイオン結合; 銅イオン結合; キノン結合。

保管・発送情報

安定性

-20°Cで少なくとも1年間安定しています